

資料提供	
平成25年5月1日	
担当 (担当者)	県立図書館 (網浜)
電話	0857-26-8155

鳥取県出身の俳人阪本四方太を紹介します。

—「郷土出身文学者シリーズ9 阪本四方太」刊行

阪本四方太（さかもと しほうだ: 1873 ~ 1917）は岩美町出身で鳥取ゆかりの俳人です。本名は阪本四方太（よもた）といい、正岡子規の高弟として、俳誌『ホトトギス』の選者としても活躍しました。幼少期の思い出をまとめた写生文「夢の如し」は、夏目漱石に称賛されました。鳥取に近代的俳句を導入した先駆者であり、鳥取の俳句グループ「卯の花会」を指導し、多くの優れた俳人を輩出しました。また東京帝国大学の司書官を勤める一方、日本文庫協会（現・日本図書館協会）の初代評議員としても活躍し、日本の近代的図書館の黎明期にすぐれた業績を残した人です。

このたび、四方太の生涯、業績を分かりやすく紹介したブックレットを発行しました。

なお、このブックレットは郷土出身文学者の生涯や作品の紹介などをまとめた「郷土出身文学者シリーズ」の第9巻です。既刊として尾崎放哉、尾崎翠、生田長江、伊良子清白などがあります。

記

- 1 刊行部数 1, 200部
- 2 配布先 県内公共図書館、小中学校、高等学校、大学・短期大学・高等専門学校
図書館ほか
- 3 規格 A5判 87頁 カラー
- 4 販売価格 1部 500円
- 5 内容 本編 阪本四方太の生涯と文学活動
第一章 阪本四方太の生涯 西尾 肇
第二章 俳人 阪本四方太 小山 貴子
第三章 阪本四方太と写生文 北川 扶生子
特別寄稿 図書館人としての阪本四方太 竹内 愼
資料編 四方太に親しむ
『夢の如し』(抄)、四方太俳句(抄)、四方太ゆかりの地案内、阪本四方太年譜
- 6 販売場所 鳥取県立図書館2階 郷土資料カウンター
鳥取県庁県民課（県庁本庁舎1階）
東部振興課八頭会計分室、中部総合事務所地域振興局
西部総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局